



2019年11月5日
東日本旅客鉄道株式会社

JR東日本とみんなのタクシーはMaaS領域における事業提携を行います

- 東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二、以下「JR東日本」）とみんなのタクシー株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役：西浦賢治、以下「みんなのタクシー」）は、「MaaS (Mobility as a Service)」の推進に向けて事業提携することとなりました。
- JR東日本では、モニター企業数社の従業員を対象に「Ringo Pass」アプリでタクシーとシェアサイクルをスムーズに利用できるワンストップサービスの実証実験を実施し、商用化に向けた準備を行っております。
- この提携により「Ringo Pass」アプリを通じたタクシー利用の利便性向上を目指します。

1. 提携開始時期

2019年度内

2. 提携概要

JR東日本が実証実験を行っているスマホアプリ「Ringo Pass」で、みんなのタクシーの株主である国際自動車株式会社、大和自動車交通株式会社、株式会社チェッカーキャブが保有するタクシー車両の後部座席タブレットに表示されるQRコードを予め読み取ることにより、目的地到着後すぐに降車できる決済サービスが利用可能となります。

この提携により、サービスに対応するタクシー台数が約3,600台（国際自動車株式会社保有分）から約9,000台に拡大する予定です。

3. 今後について

JR東日本とみんなのタクシーは、MaaSの推進に向けて様々な連携を検討してまいります。

<参考：Ringo Pass 概要>

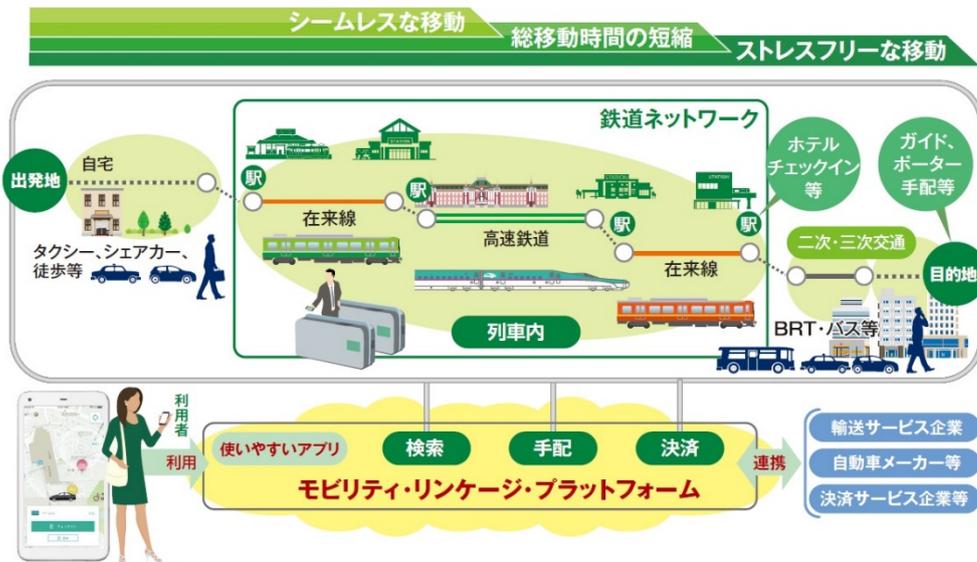


参考 MaaS 提供に関する両社の取り組み

【JR 東日本】

グループ経営ビジョン「変革 2027」において、移動のための検索・手配・決済をお客さまにオールインワンで提供する「モビリティ・リンケージ・プラットフォーム」を構築し、「シームレスな移動」「総移動時間の短縮」「ストレスフリーな移動」を実現することを目指しています。

これにより、お客さまが 24 時間、あらゆる生活シーンで最適な手段を組み合わせるサービスを利用できる環境を実現します。



【みんなのタクシー】

みんなのタクシーは、今後も様々な事業領域で強みを有するパートナーとの連携を推進し、全国のタクシー事業者がみんなのタクシーの提供するサービスをご利用いただける環境を引き続き整備していくと共に、安心・安全・快適な移動体験の提供を通じて、移動・交通の最適化を目指します。

